

# 令和8年度 基本方針

課 名	総務課
職・作成者	課 長 夫馬 英之
	課長補佐 真島 綾子
	課長補佐 佐野 邦明

## 1. 本年度の目標

- 1 子育てや介護など生活と仕事の両立、誰もが働きやすい魅力ある職場づくりの推進
- 2 職員の定員適正化や人材育成による組織体制と研修の充実
- 3 デジタル技術等の活用による市民・事業者・職員の利便性の向上
- 4 新潟県知事選挙および市議会議員選挙の適切な事務及び執行
- 5 各種事業・施設・業務等の適切な見直し・更新の実施

## 2. 目標達成の課題

- 1 子育てや介護など生活面との両立ができるよう、いきいきと働ける職場づくりを継続していく必要がある
- 2 労働者不足が進む中、かつ限られた人員で業務を進めていくため、優秀な人材の確保と人材育成を計画的に進める必要がある
- 3-1 デジタル技術等新たな技術を活用し、対応していく必要がある
- 3-2 新しいデジタル技術を導入しても、使いこなす能力が不足している
- 4 複数選挙でも適切に執行できる人材の育成や配置を図らなければならない
- 5 様々な制度・事業・施設等が時代に合わなくなっており、適切に見直し、更新を進める必要がある

## 3. 重点施策

- 1 子育てや介護をしながら働き続けられる、また、いきいきと働ける職場環境づくりのため、新たな制度の導入や既存制度の見直しを引き続き検討する
- 2-1 計画的な前期・後期採用や情報発信の拡充を図る、また職員の定員適正化計画を改定し、計画的な人員体制を構築できるよう取り組む
- 2-2 職員の能力底上げや意識改革を図るため、目的や対象者を明確にした研修を計画的に行うと共に、人材育成に対する意識の醸成・浸透を図る
- 3-1 人事給与システムの安定稼働や時間外の削減、庶務事務システム導入後の労務管理や適切な人事評価などに繋げる。また、自治体システム標準化への対応等、新たな技術の導入と検討・実施を進める。
- 3-2 RPAやLoGoフォーム等の活用を更に進めるため研修や業務提案を行う
- 4 職員の選挙に係る事務能力・対応力向上の取り組み、また適正配置を継続的に検討し、適切に執行する
- 5 文書管理の見直し及びシステム導入検討、投票率UPに向けた検討、指定管理施設の検討、各種老朽施設の更新等、様々な分野で見直し・更新を進める

※ 記載は簡潔に